

## 「他の信仰を持つ人々の中で キリストの愛を生きる」

——東日本大震災からの教訓を踏まえて

日時：2013年5月11日（土）

13：30～16：30（13時受付）

場所：お茶の水クリスチャン・センター  
8階チャペル 東京都千代田区神田駿河台 2-1

東日本大震災で特に、津波による甚大な被害を受けた三陸沿岸地方は、漁業を中心とした地域性で竜神信仰や「講」などの伝統的な宗教共同体が根強く、福音宣教は困難を極めてきたといわれます。しかし、東日本大震災で多くの教会関係者が支援活動を展開した結果、地域住民の間に「キリスト教」「クリスチャン」に対する認識が変革しつつあり、聖書の教える信仰に心を開く例も少なからず報告されています。そこで、支援と伝道に関連づけるといった短絡的な発想とは異なる、人間の生の現実に密着したまさにホーリスティックな福音宣教のあり方が問われています。その現場から提言を受けるとともに、世界宣教の最前線からの実験的な問題提起ともすり合わせ、日本宣教へのヒントを探ります。



写真・南三陸町防災庁舎前に備えられた供養の品

### 【パネリスト】中澤竜生さん（南三陸を支えるキリスト者ネットワーク世話役、基督聖協団牧師）

……復興支援の現場。キリスト教会がなかった宮城県南三陸町では、地域住民の要請によってクリスチャンセンターが開設され、实际的・精神的・霊的にホーリスティックな人々の必要に応える支援を続け、キリストの愛を隣人として分かち合っている。

### 鈴木 真さん（イザヤ58 ネット代表、福音伝道教団牧師）

……支援を通して教えられた日本宣教への提言。被災地で経験したことはそれだけに留まらず、日本のどの地域においても適用される問題であることを提言する。

### 市村和夫さん（インターナショナルVIPクラブ代表、国際ナビゲータースタッフ）

……世界宣教の現場で提起されている、他の宗教との新たな関係性「インサイダー運動」を紹介。イスラムやヒンドゥーなどの伝統的な文化・生活を保持したまま共同体の中でキリストを示す。海外でビジネスをする日本人にとっては、他の宗教的背景の隣人に福音を証しするヒントに。

司会 / コーディネーター：根田祥一（クリスチャン新聞編集長、日本ローザンヌ委員会委員）

●参加登録：日本ローザンヌ委員会ウェブサイトから <http://www.lausanne-japan.org>

\*申し込み受け付け（締め切り）後、正式な参加登録についてお知らせします。

●締め切り：2013年4月17日（水）

●問い合わせ：Phone：090-9396-2004（こんだ）

E-mail：japanlausanne.info@gmail.com

\*牧師、信徒、女性、青年の参加を歓迎します。ただし、参加希望者が会場収容能力を超えた場合は1団体ごとの人数を調整させていただくことがあります。

主催 / 日本ローザンヌ委員会 協賛 / 日本福音同盟（JEA）宣教委員会、第6回日本伝道会議実行委員会  
関西ミッションリサーチセンター（KMRC）、東京ミッション研究所（TMRI）、海外宣教連絡協力会（JOMA）  
協力 / お茶の水クリスチャン・センター、東日本大震災救援キリスト者連絡会（DRCnet）、クリスチャン新聞  
後援 / 南三陸を支えるキリスト者ネットワーク、イザヤ58 ネット、アンテオケ宣教会、インターナショナルVIPクラブ  
クラッシュジャパン